

所外研修⑥ 県指定研究校白川小学校の算数科公開授業・授業研究会に参加

10月30日(金)に沖縄県教育委員会指定研究校(教育課程:算数)の算数科公開授業・授業研究会に第6回所外研修として、参加しました。

白川小学校は「算数科における思考力・判断力・表現力を身につけた児童の育成～児童の思考過程が見える板書とノート指導の工夫を通して～」をテーマに特別支援を含む全学年、全学級で公開授業を実施しました。特に板書計画では、県教育委員会も推奨している「マイノート」の取り組みが実践されていて、今後の授業改善に活かせる内容で、多くの示唆を得られた研修でした。

教育研究員の感想 (研修日誌から)

小学校1年生が、卒園して半年で椅子に座ってきちんと授業を受けている姿をみて感動しました。授業の導入で生活実態にあった提示の仕方は、子どもが興味をもって取り組んだり、どうなんだろうと考えることができるので良かったなと思いました。先生方は子どもの声を引き出す為の発問を意識したり、答えてくれている子どもの声を強調したりと工夫も見られました。授業はとても早く流れていた感じを受けましたが、子ども達はきちんと授業についていっていました。しかし、よく先生の話聞いていないとすぐに「わからない」となってしまうと思います。幼児期にきちんと人の話を聞く、聞いていることを理解する、思っていることを話すことが出来る子に育てないといけないと感じました。また、どの授業においても、言語活動の充実を意識してと、あります。子ども達に豊かな体験を通して様々な言葉を学んでいけるように幼稚園においての環境の大切さを感じました。(上原亜矢)



写真1 白川小学校にて

2年生のかけ算は、算数の単元の中でも重要な単元で基礎となる大事な部分なので、より丁寧で確実な指導が求められます。今日は、どんな指導をするのかとても楽しみに参観しました。見る視点としては、教師の説明の仕方、問題提示の仕方、板書の仕方、ノートの取らせ方、思考のさせ方等でした。私はこれまで、「教えて考えさせる授業」をしてきたので、問題解決学習を見るのは久しぶりでした。

白川小学校の先生方はしっかりと教材研究をされており、板書が分かりやすかったです。また、吹き出しを使って、気づいた点を書かせており、いい方法だと感じました。私も是非やってみたいと思います。しかし、どんなに時間がなくても、押さえるべきところはしっかりと押さえないといけないと思いました。かけ算の構成なのに、式のみ説明となっていて、残念でした。やはり、理解させるためには、図が必要だと私も含め数人の教師から指摘がありました。授業研究会では、私の実践を聞きたいと言われたので、色々お話しさせていただきました。長嶺小学校でやってきたことを話す機会を与えられて、嬉しかったです。(比嘉頼子)

白川小学校の6年生の取り組みとして大切だと思ったのが教師のマイノートです。教材研究の時に児童と同じノートに事前に計画しておくのは授業を組み立てる点と、どのクラスも同じ指導ができる点が必要だと思いました。国語でも同じ取り組みをしているようですが、とてもいいと思います。発問では差がでてくるとは思いますが、経験の少ない教師でもある一定のレベルの授業を組み立てられるからです。ただ、それをいつやるのが難しい所だと思いました。

比例の単元でしたが、前時までのおさえがよくなったのか $Y = \text{きまった数} \times X$ の式にもっていく子が少なかったのが自分が授業やる時は気をつけようと思いました。質疑応答で考えさせられたのがノートの役割でした。どういうねらいのノート作りをしたいのかまでしっかり教師が考える必要があると思いました。電子黒板を使っている授業を見ての感想は「使いにくそう」でした。色々なタイプの電子黒板があるとは思いますが、一度入れてしまうと何年も使っていくものなので、教師の目線をもっと取り入れてじゃないと有効活用ができないと思います。(久高友弥)

今回の研究授業は、私が検証授業する単元「比べ方を考えよう(1)」ということもあり、とても興味がありました。昨日参観した東風平小学校でも同じ内容だったので、授業展開の仕方を視点を観ました。指導書では、1時間扱いの所をあえて、2時間扱いにし、子ども達の理解を図っているところは、子どもの立場に立った指導があるなと感じました。

白川は、思考過程が見える板書とノート指導の工夫をテーマに研究していることもあり、教師のマイノートや児童のノート、板書の連動がしっかりできていました。ノートに学びの足跡を残すことで、振り返りが容易で思考力・表現力の育成にもつながるのではないかと思います。(富名腰由紀)

マイノート(教師用)を活用し学年で共通で授業を計画していくことはすごいと感じました。授業では、書くスピードも速く、自分の考えを発表する姿はすごいと感じました。

ノート指導のポイントとしては消しゴムで間違いは消さずに赤ペンで二重線でみえ消しする、黒板は3分割として左端2マスは縦線で区切りめあて、問題、予想、友達を考え、まとめパターンを決め、共通した指導を4月からしているようです。生徒は、問題からめあてを考えるとすぐにスムーズに答えていたので、びっくりしました。課題の見つける思考力の例をみせてもらいました。(波照間生子)